

# Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム  
KBF(神戸ビーフ)  
KMBF(コンビーフ)

# 第11回 神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション  
「ヨハネの黙示録」講解メッセージ  
**黙示録21章～22章5節**

2016/11/26(土)

# お願い！

このパワーポイント資料は

## Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の  
電子版か紙版テキストと合わせて  
必ずご参照・ご活用下さい！

\*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。  
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

# 1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

# 全体構造理解の大前提！

## ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは  
神の計画が進展していく過程において出現する  
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。  
神がユダヤ民族と  
アブラハム契約を結ばれたこと  
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光  時間を 超越した 永遠の秩序  <u>黙21:1</u> ~22:5
	① ~無垢の 時代~	② ~良心の 時代~	③ ~人間による 統治の時代~	④ ~約束の 時代~	⑤ ~律法の 時代~	⑥ ~恵みの 時代~	⑦ ~御国の 時代~	
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→							
2. アダム契約 聖書箇所		【2】						
3. ノア契約 聖書箇所			【3】					
4. アブラハム契約 聖書箇所				【4】				
5. モーセ契約 聖書箇所					【5】			
6. 土地の契約 聖書箇所						【6:土地】		
7. ダビデ契約 聖書箇所							【7:子孫】	
8. 新しい契約 聖書箇所								【8:祝福】

・創1:26~31・創2:16~17

・創3:14~19

・創9:1~17

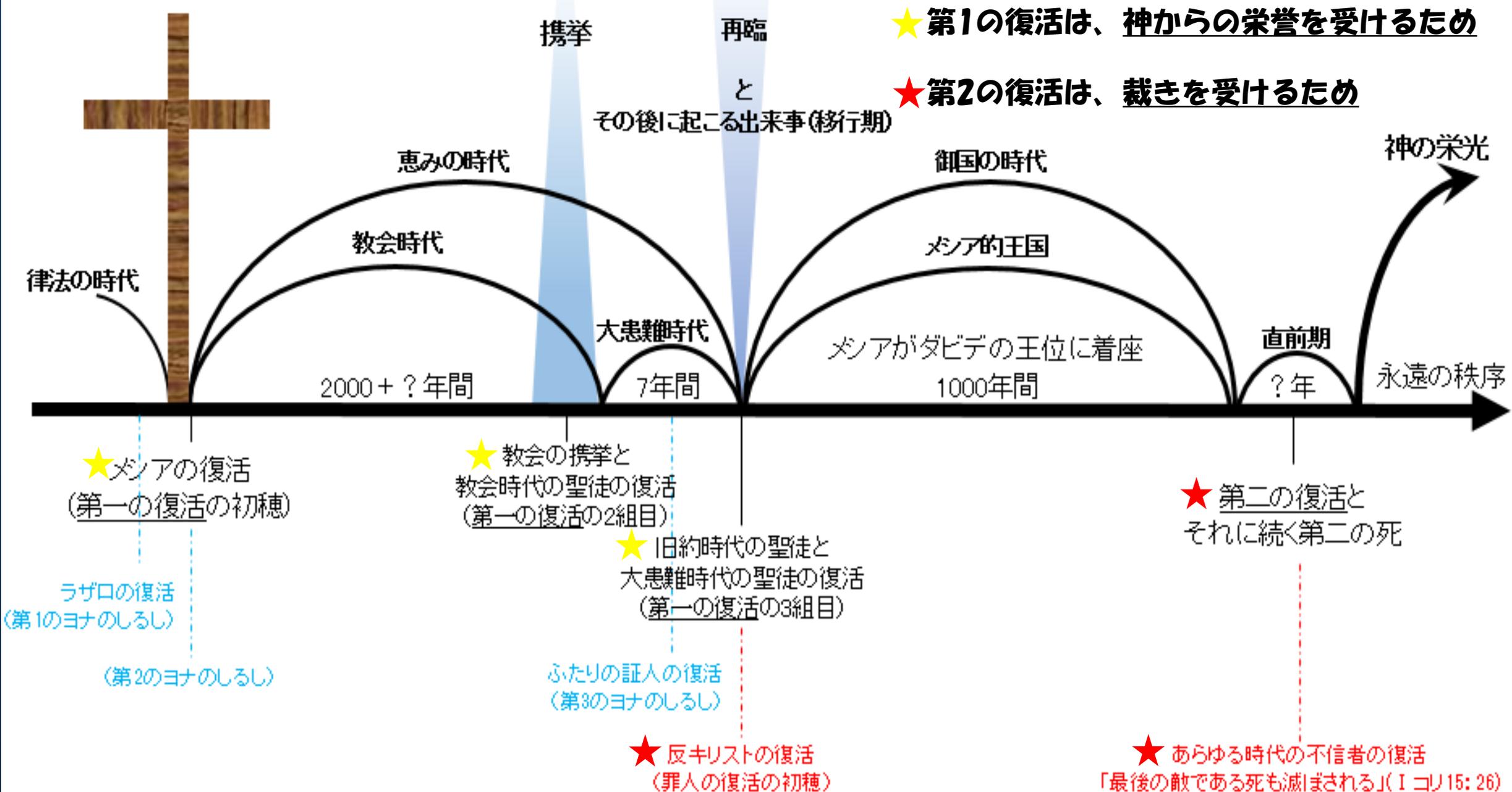
・創12:1~3 ・創12:7 ・創13:14~17  
・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18

・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18

・申29:1~30:1 \*特に申29:1に注目

・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)

・エレ31:31~34



- 序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
- あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
- I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
- II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
- III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)
2. 大患難時代(6:1~18:24)
  - (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)
  - (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)
  - (3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)
  - (4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)
4. メシア的王国(20:4~6)
5. その後の出来事(20:7~15)
6. 永遠の御国(21:1~22:5)

-----> 再臨までのプロセス

-----> クライマックスは再臨

新しい天と新しい地(21:1~2)	66
第1の宣言(21:3~4)	67
第2の宣言(21:5~8)	68
聖なる都エルサレム(21:9~10)	69
聖なる都の城壁(21:11~13)	70
土台石と都の広さ(21:14~17)	71
宝石でできた都(21:18~21)	72
都のあかりなる小羊(21:22~27)	73
いのちの水の川(22:1~2)	74
神の都の住民(22:3~5)	75

← 第11回(11/26) 本日 ★

結論(22:6~21)

← 第12回(12/24)

# 1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

# 2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。 」

# 3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

# 黙示録の要点

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス** (黙1:7)

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心** (ゼカリヤ12:10)

(3) 終末論の出来事の流れ

**携拳→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国**

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、**靈的なもの(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯は **「迫害の中にいる人々」と「教会全体」への励ましと矯正**

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

# ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

## 1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

## 2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。  
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

## 3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2 ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

## II. 第11回)

# 黙示録21章～22章5節アウトライン

- (1) **21 : 1～2 「新しい天と新しい地」**
- (2) **21 : 3～4 「第1の宣言」**
- (3) **21 : 5～8 「第2の宣言」**
- (4) **21 : 9～10 「聖なる都エルサレム」**
- (5) **21 : 11～13 「聖なる都の城壁」**

- (6)21 : 14~17 「土台石と都の広さ」**
- (7)21 : 18~21 「宝石でできた都」**
- (8)21 : 22~27 「都のあかりなる小羊」**
- (9)22 : 1~2 「いのちの水の川」**
- (10)22 : 3~5 「神の都の住民」**

# III. 今後学ぶことの展望(最終回まで)

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

新しい天と新しい地(21:1~2)

66

第1の宣言(21:3~4)

67

第2の宣言(21:5~8)

68

聖なる都エルサレム(21:9~10)

69

聖なる都の城壁(21:11~13)

70

土台石と都の広さ(21:14~17)

71

宝石でできた都(21:18~21)

72

都のあかりなる小羊(21:22~27)

73

いのちの水の川(22:1~2)

74

神の都の住民(22:3~5)

75

結論(22:6~21)

← 第11回(11/26) 本日 ★

← 第12回(12/24)

## IV. 結論：永遠の秩序、永遠の御国、神の栄光 ～キリストを信じた者のゴールとは～

- (1) アブラハムの信仰と生き方を受け継ぐとは？
- (2) 苦難の中で、信仰の目を上げるとは？
- (3) 黙示録のメッセージを真剣に受け止めるなら
- (4) 神の備えて下さるものとは？
- (5) 信じる者に与えられる神の守りとは？

- (6) 永遠の住まいを思いうかべることができたなら？
- (7) 恵みと特権に感謝したなら？
- (8) 都に入れる者とは？
- (9) 「いやし主」である主イエスとは？
- (10) 「わたしは世の光です。」とは？

このメッセージは、永遠の秩序(御国)、  
神の栄光(シャカイナグローリー)について  
学ぼうとするものである。

ここからが本論！



# 黙示録21章1節 ～22章5節

～永遠の秩序(御国)・神の栄光～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)



新しい天と新しい地(21:1～2)

\*以前の天と地は過ぎ去った

66

\*新しいエルサレム

第1の宣言(21:3～4)

67

第2の宣言(21:5～8)

68

聖なる都エルサレム(21:9～10)

69

聖なる都の城壁(21:11～13)

70

土台石と都の広さ(21:14～17)

71

宝石でできた都(21:18～21)

72

都のあかりなる小羊(21:22～27)

73

いのちの水の川(22:1～2)

74

神の都の住民(22:3～5)

75

結論(22:6～21)

## 66) 21 : 1~2 「新しい天と新しい地」

\*過ぎ去る古い世界と出現する新しい世界 (21 : 1)

21:1 また私は、**新しい天と新しい地**とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

\***聖なる都エルサレム (21 : 2-22 : 5)**

\***新しいエルサレム(21 : 2)**

21:2 私はまた、**聖なる都、新しいエルサレム**が、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。

# 新しいエルサレム

～束縛と自由の比較～

**ガラテヤ4：26 「5つの比較」 「比喩的意味」**

4：26 しかし、**上にあるエルサレム**は自由であり、  
私たちの母です。

# 新しいエルサレム

～アブラハムとサラの信仰～

ヘブル11：9～10 「どこに行くかも知らないで」  
「約束された地での天幕生活」「子を宿す力」

ヘブル 11:9 信仰によって、彼は約束された地に他国人の  
ようにして住み、同じ約束をとともに相続するイサクやヤ  
コブとともに天幕生活をしました。 11:10 彼は、**堅い基  
礎の上に建てられた都**を待ち望んでいたからです。その  
都を設計し建設されたのは神です。

# 新しいエルサレム

～クリスチャンの立場～

## ヘブル12：22～24 「シナイ山」「シオンの山」

ヘブル12:22 しかし、あなたがたは、シオンの山、**生ける神の都**、**天にあるエルサレム**、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。12:23 また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、12:24 さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

御国の時代

メシア的王国

順②  
白い御座  
のさばき

順⑥:第2の宣言(御座に着いておられる方の声:2種類の相続)

順⑤:第1の宣言(御座から出る大きな声:創3:16~19のろいからの解放)

直前期

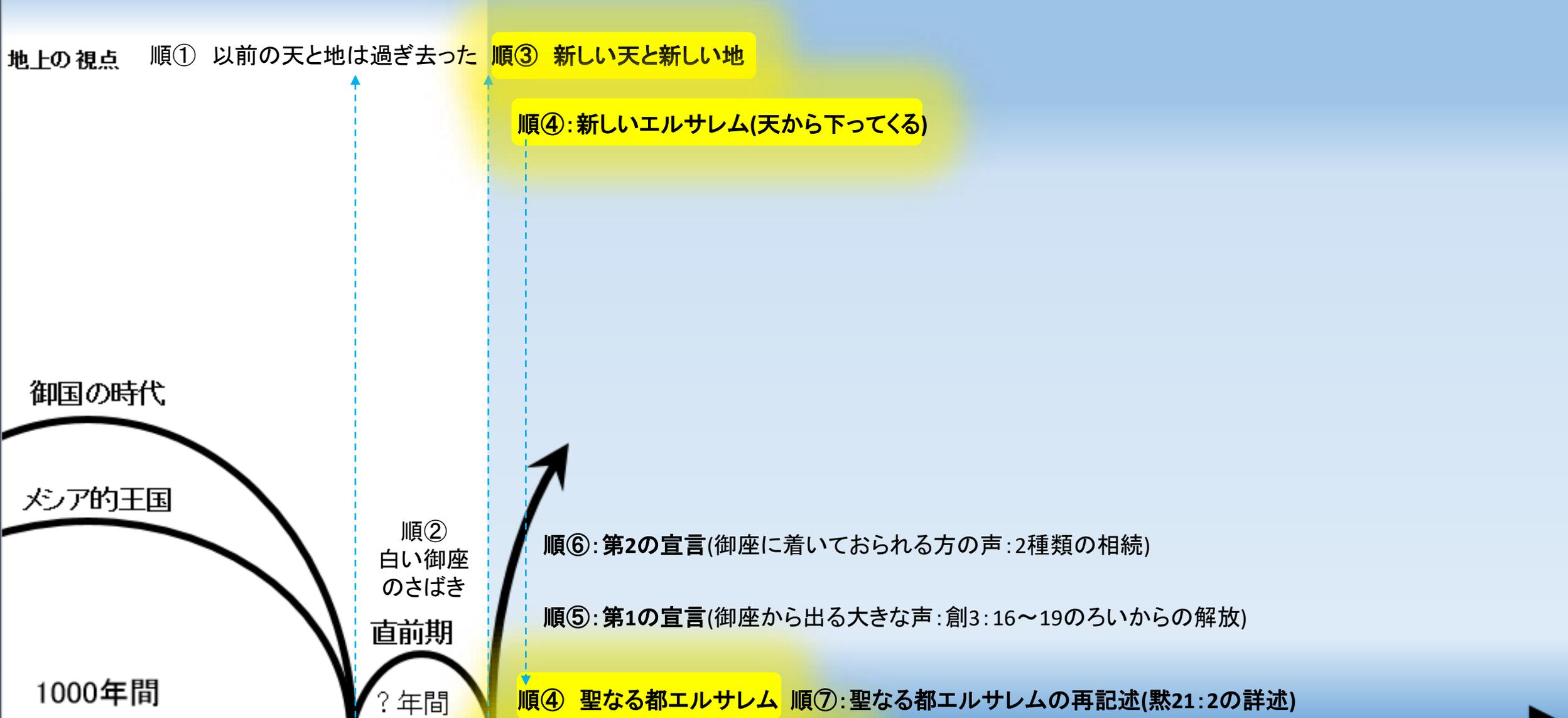
1000年間

?年間

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦:聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地(海がない)



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

★ 新しい天と新しい地(21:1～2)

66

第1の宣言(21:3～4)

\*御座から出る大きな声

67

\*創世記3:16～19の呪い

第2の宣言(21:5～8)

68

聖なる都エルサレム(21:9～10)

69

聖なる都の城壁(21:11～13)

70

土台石と都の広さ(21:14～17)

71

宝石でできた都(21:18～21)

72

都のあかりなる小羊(21:22～27)

73

いのちの水の川(22:1～2)

74

神の都の住民(22:3～5)

75

結論(22:6～21)

## 67) 21 : 3~4 「第1の宣言」

21:3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、21:4 彼らの目の涙をすっきりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」

# 新しいエルサレム

～クリスチャンの立場～

## ヘブル12：22～24 「シナイ山」 「シオンの山」

ヘブル12:22 しかし、あなたがたは、シオンの山、**生ける神の都**、**天にあるエルサレム**、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。12:23 また、天に登録されている長子たちの教会、**万民の審判者である神**、全うされた義人たちの霊、12:24 さらに、**新しい契約の仲介者イエス**、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。

# 創世記3：16～19ののろい

～アダム契約の第3区分と第4区分～

## 「女に対して」第3区分 男との関係

創 3:16 **女にはこう仰せられた。**「わたしは、あなたのうめきと苦しみを大いに増す。あなたは、苦しんで子を産まなければならない。しかも、あなたは夫を恋い慕うが、彼は、あなたを支配することになる。」

## 「男に対して」第4区分 肉体的な死

3:17 また、**人に仰せられた**。「あなたが、妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならない。

3:18 土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならない。 3:19 あなたは、顔に汗を流して糧を得、**ついに、あなたは土に帰る**。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を超越した永遠の秩序  黙21:1 ~22:5		
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~			
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10			
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア			
1. エデン契約 聖書箇所	→ 創1:26~31・創2:16~17									
2. アダム契約 聖書箇所		→ 【2】 創3:14~19								
3. ノア契約 聖書箇所			→ 【3】 創9:1~17							
4. アブラハム契約 聖書箇所				→ 【4】 創12:1~3・創12:7・創13:14~17 創15:1~21・創17:1~21・創22:15~18						
5. モーセ契約 聖書箇所					→ 【5】 出19:3~8・広くは出20:1~31:18					
6. 土地の契約 聖書箇所					→ 【6:土地】 申29:1~30:1 *特に申29:1に注目					
7. ダビデ契約 聖書箇所					→ 【7:子孫】 IIサム7:11b~17(ソロモン強調)・I歴17:10b~15(メシア強調)					
8. 新しい契約 聖書箇所					→ 【8:祝福】 エレ31:31~34					

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

御国の時代

メシア的王国

1000年間

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

?年間

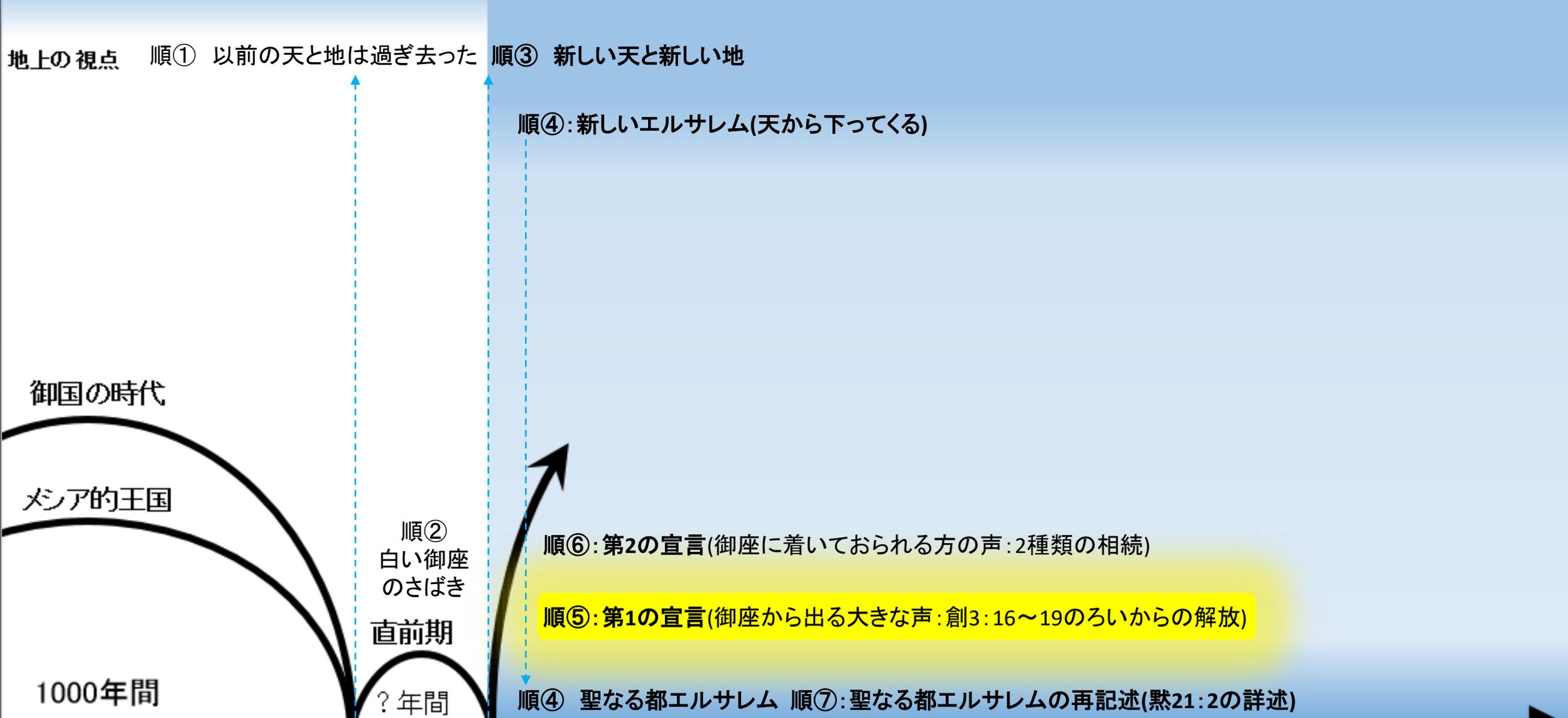
順⑥:第2の宣言(御座に着いておられる方の声:2種類の相続)

順⑤:第1の宣言(御座から出る大きな声:創3:16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦:聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地(海がない)



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2) 66

第1の宣言(21:3～4) 67

第2の宣言(21:5～8) 68

\*御座に着いておられる方の声

\*2種類の相続

\*きょうの霊想:富は天国への思いをかき消す

聖なる都エルサレム(21:9～10) 69

聖なる都の城壁(21:11～13) 70

土台石と都の広さ(21:14～17) 71

宝石でできた都(21:18～21) 72

都のあかりなる小羊(21:22～27) 73

いのちの水の川(22:1～2) 74

神の都の住民(22:3～5) 75

結論(22:6～21)



## 68) 21:5~8 「第2の宣言」

21:5 すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」21:6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。21:7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。21:8 しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受け分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。」

# 聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

## 私たちの**ABC**

**AIM** ... 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。  
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

**BASIS** ... 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。  
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

**CONCEPT** ... 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した  
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

# 自立への道

## 教会の病理現象 (FATIM) からの脱却

①形式主義(FORMALISM)から自由主義(FREEDOM)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(AUTHORITARIANISM)から自治(AUTONOMY)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(TRADITIONALISM)から変革(TRANSFORMATION)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(INWARD-LOOKING)から外向き志向(OUTWARD-LOOKING)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(MEMBERSHIP-ORIENTED)から流動志向(MIGRATION-ORIENTED)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

御国の時代

メシア的王国

順②  
白い御座  
のさばき

順⑥: 第2の宣言(御座に着いておられる方の声: 2種類の相続)

順⑤: 第1の宣言(御座から出る大きな声: 創3: 16~19のろいからの解放)

直前期

? 年間

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦: 聖なる都エルサレムの再記述(黙21: 2の詳述)

1000年間

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地(海がない)

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

新しい天と新しい地(21:1~2) 66

第1の宣言(21:3~4) 67

第2の宣言(21:5~8) 68

★ 聖なる都エルサレム(21:9~10)

\*七人の御使いのひとり 69

\*永遠の住まいとは

\*ぎょうの霊想:天国に入る条件

聖なる都の城壁(21:11~13) 70

土台石と都の広さ(21:14~17) 71

宝石でできた都(21:18~21) 72

都のあかりなる小羊(21:22~27) 73

いのちの水の川(22:1~2) 74

神の都の住民(22:3~5) 75

結論(22:6~21)

## 69) 21 : 9~10 「聖なる都エルサレム」

21:9 また、最後の七つの災害の満ちているあの七つの鉢を持っていた七人の御使いのひとりが来た。彼は私に話して、こう言った。「**ここに来なさい。私はあなたに、小羊の妻である花嫁を見せましょう。**」 21:10 そして、御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行って、聖なる都エルサレムが神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

御国の時代

メシア的王国

1000年間

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

?年間

順⑥:第2の宣言(御座に着いておられる方の声:2種類の相続)

順⑤:第1の宣言(御座から出る大きな声:創3:16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦:聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地(海がない)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2) 66

第1の宣言(21:3～4) 67

第2の宣言(21:5～8) 68

聖なる都エルサレム(21:9～10) 69

★ 聖なる都の城壁(21:11～13)

\*神の栄光 70

\*城壁と十二の門

土台石と都の広さ(21:14～17) 71

宝石でできた都(21:18～21) 72

都のあかりなる小羊(21:22～27) 73

いのちの水の川(22:1～2) 74

神の都の住民(22:3～5) 75

結論(22:6～21)

## 70) 21:11~13 「聖なる都の城壁」

### \*特徴① 神の栄光(11節)

21:11 都には神の栄光があった。その輝きは高価な宝石に似ており、透き通った碧玉のようであった。

### \*特徴② 城壁と十二の門(12~13節)

21:12 都には大きな高い城壁と十二の門があって、それらの門には十二人の御使いがおり、イスラエルの子らの十二部族の名が書いてあった。

21:13 東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があった。

透き通った碧玉(ジャスパー)  
とはどんな色だろうか!?



地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴①  
神の栄光

御国の時代

メシア的王国

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

順⑥:第2の宣言(御座に着いておられる方の声:2種類の相続)

順⑤:第1の宣言(御座から出る大きな声:創3:16~19のろいからの解放)

1000年間

?年間

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦:聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った

順③ 新しい天と新しい地(海がない)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2) 66

第1の宣言(21:3～4) 67

第2の宣言(21:5～8) 68

聖なる都エルサレム(21:9～10) 69

聖なる都の城壁(21:11～13) 70

土台石と都の広さ(21:14～17) 71

\*土台石

\*都の広さ

\*ぎょうの霊想: 人生の最終章

宝石でできた都(21:18～21) 72

都のあかりなる小羊(21:22～27) 73

いのちの水の川(22:1～2) 74

神の都の住民(22:3～5) 75

結論(22:6～21)



## 71) 21 : 14~17 「土台石と都の広さ」

### \*特徴③ 土台石(14節)

21:14 また、都の城壁には十二の土台石があり、それには、小羊の十二使徒の十二の名が書いてあった。

### \*特徴④ 都の広さ(15~17節)

21:15 また、私と話していた者は都とその門とその城壁とを測る金の測りざおを持っていた。21:16 都は四角で、その長さとは幅は同じである。彼がそのさおで都を測ると、二万二千スタティオンあった。長さも幅も高さも同じである。21:17 また、彼がその城壁を測ると、人間の尺度で百四十四パーキュスあった。これが御使いの尺度でもあった。

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

御国の時代

メシア的王国

1000年間

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

?年間

特徴④ 都の広さ

特徴①  
神の栄光

特徴③ 土台石

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

順⑥: 第2の宣言(御座に着いておられる方の声: 2種類の相続)

順⑤: 第1の宣言(御座から出る大きな声: 創3: 16~19のろいからの解放)

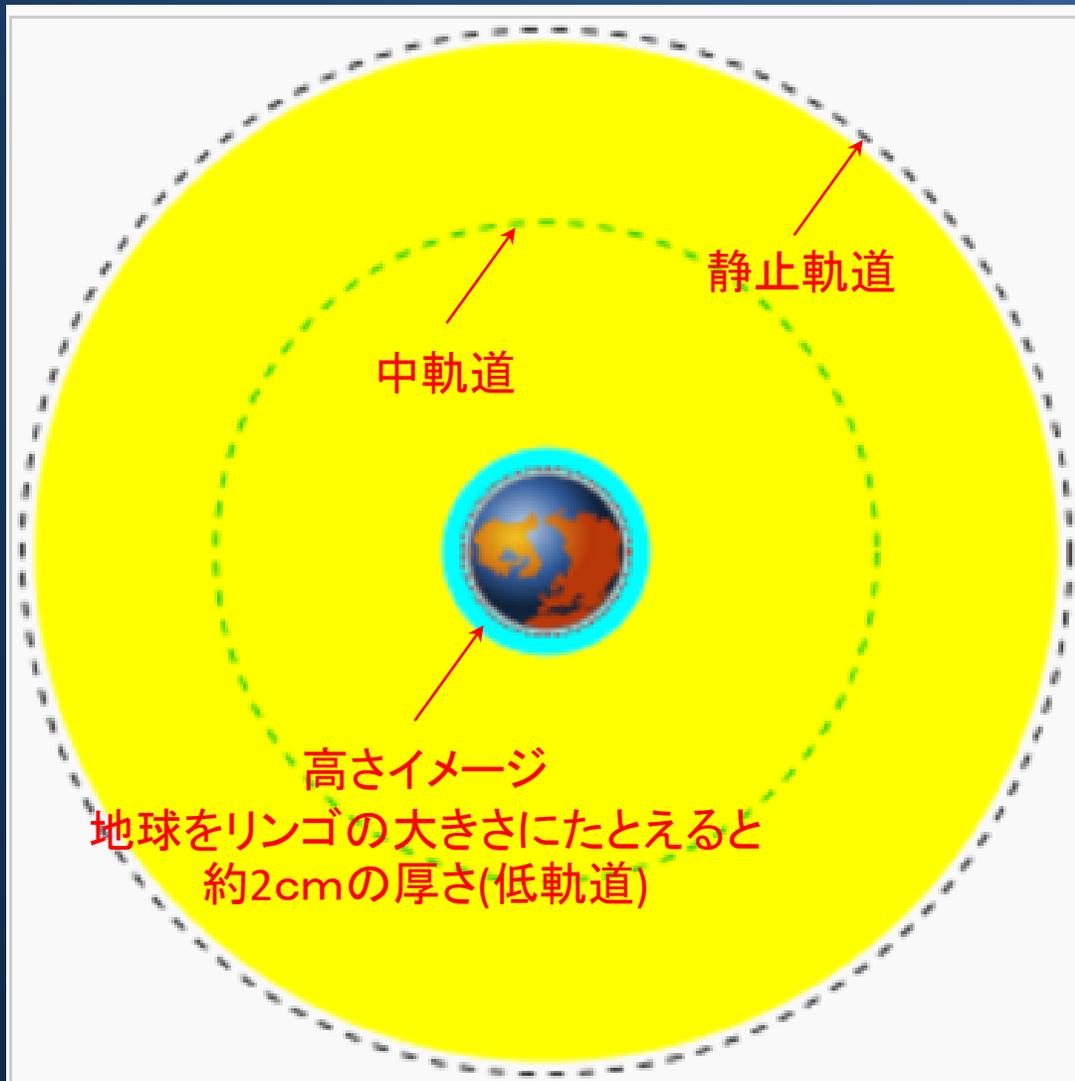
順④ 聖なる都エルサレム 順⑦: 聖なる都エルサレムの再記述(黙21: 2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地(海がない)

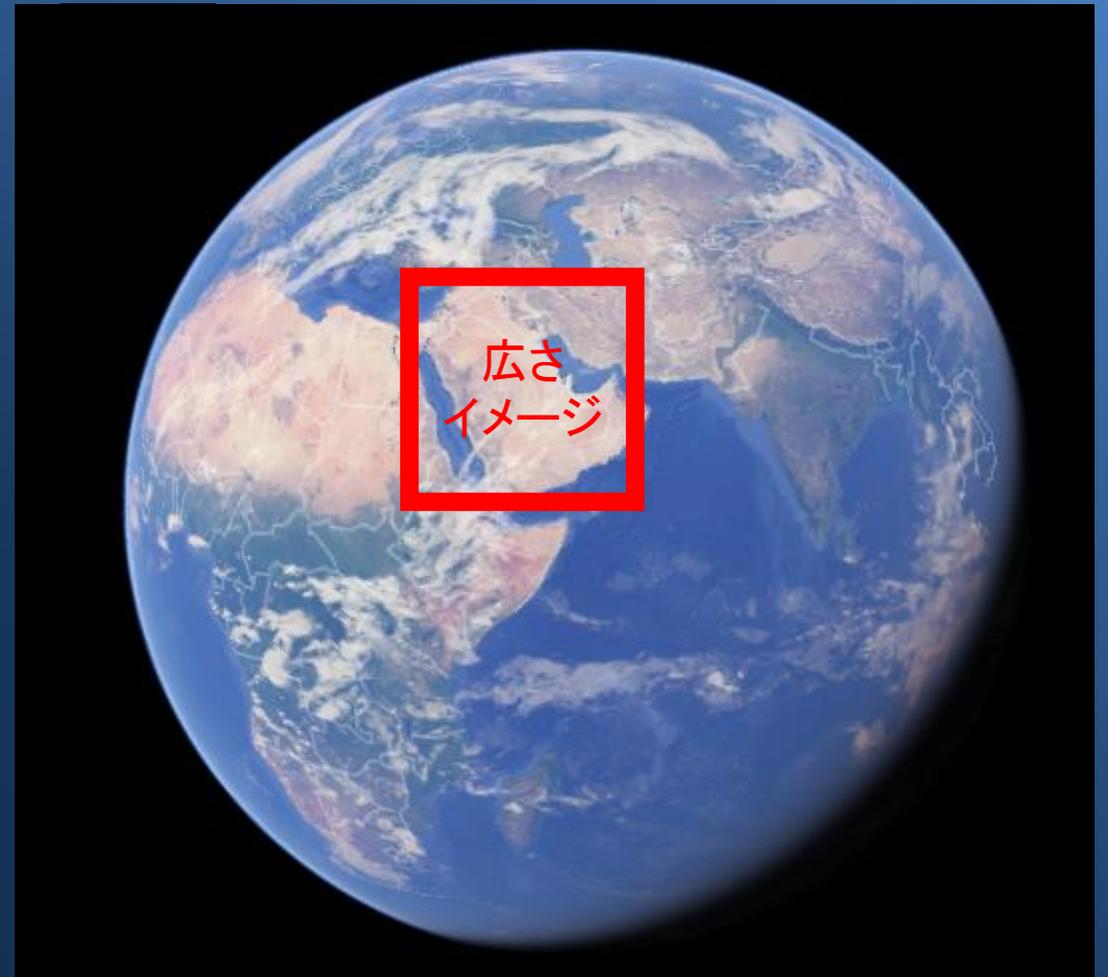


面積  $\times$  笑顔

2,227,877 km<sup>2</sup>



地球周辺の衛星の軌道。水色が低軌道、黄色が中軌道、黒色の点線が静止軌道を表している。



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2)

66

第1の宣言(21:3～4)

67

第2の宣言(21:5～8)

68

聖なる都エルサレム(21:9～10)

69

聖なる都の城壁(21:11～13)

70

土台石と都の広さ(21:14～17)

71

宝石でできた都(21:18～21)

\*都の材質

72

\*エゼキエル書28:13との比較

\*きょうの霊想: 神の慰めを見いだした有名な作家

都のあかりなる小羊(21:22～27)

73

いのちの水の川(22:1～2)

74

神の都の住民(22:3～5)

75

結論(22:6～21)



## 72) 21 : 18~21 「宝石でできた都」

### \*特徴⑤ 都の材質

21:18 その城壁は碧玉で造られ、都は混じりけのないガラスに似た純金でできていた。21:19 都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイヤ、第三は玉髓、第四は緑玉、21:20 第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石、第八は緑柱石、第九は黄玉、第十は緑玉髓、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。21:21 また、十二の門は十二の真珠であった。どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。

# ① 碧玉

(ジャスパー)



# ② サファイア

(青玉・蒼玉)



# ③ 玉髓



# ④ 緑玉

(エメラルド)



# ⑤ 赤縞めのう



# ⑥ 赤めのう



# ⑦ 貴かんらん石



# ⑧ 緑柱石



# ⑨ 黄玉

(トパーズ)



# ⑩ 緑玉髓



# ⑪ 青玉

(サファイア・蒼玉)



# ⑫ 紫水晶



「混じりけのないガラスに似た純金」とは  
どんなものだろうか！？イメージ不可能ですね。

	24k	18k	14k	10k
純度				
硬度	柔	←————→		硬
輝き度	強	←————→		弱
変色	しない	←————→		しやすい
変形	しやすい	←————→		しにくい

# エゼキエル書28：13との比較

～ツロの王についての哀歌～

## エゼキエル28：13 「ツロの王」 「墮落」

28：13 あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石があなただをおおっていた。赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、しまめのう、碧玉、サファイヤ、トルコ玉、エメラルド。あなたのタンバリンと笛とは金で作られ、これらはあなたが造られた日に整えられていた。

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を超越した永遠の秩序  黙21:1 ~22:5		
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~			
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10			
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア			
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26~31・創2:16~17									
2. アダム契約 聖書箇所		→ 【2】 ・創3:14~19								
3. ノア契約 聖書箇所			→ 【3】 ・創9:1~17							
4. アブラハム契約 聖書箇所				→ 【4】 ・創12:1~3 ・創12:7・創13:14~17 ・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18						
5. モーセ契約 聖書箇所					→ 【5】 ・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18					
6. 土地の契約 聖書箇所					→ 【6:土地】 ・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目					
7. ダビデ契約 聖書箇所					→ 【7:子孫】 ・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)					
8. 新しい契約 聖書箇所					→ 【8:祝福】 ・エレ31:31~34					

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴⑤ 宝石でできた都

特徴④ 都の広さ

特徴①  
神の栄光

特徴③ 土台石

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

御国の時代

メシア的王国

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

? 年間

順⑥: 第2の宣言(御座に着いておられる方の声: 2種類の相続)

順⑤: 第1の宣言(御座から出る大きな声: 創3:16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦: 聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

1000年間

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地(海がない)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2)

66

第1の宣言(21:3～4)

67

第2の宣言(21:5～8)

68

聖なる都エルサレム(21:9～10)

69

聖なる都の城壁(21:11～13)

70

土台石と都の広さ(21:14～17)

71

宝石でできた都(21:18～21)

72

都のあかりなる小羊(21:22～27)



\*不要になったもの

73

\*都にはいる者たち

いのちの水の川(22:1～2)

74

神の都の住民(22:3～5)

75

結論(22:6～21)

## 73) 21 : 22~27 「都のあかりなる小羊」

\*特徴⑥ 不要になったもの(22~23節)

21:22 私は、この都の中に**神殿を見なかった**。それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。21:23 都には、これを照らす**太陽も月もいらない**。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。

## \*特徴⑦ 都に入る者たち(24~27節)

21:24 **諸国の民**が、都の光によって歩み、地の王たちはその栄光を携えて都に来る。21:25 **都の門**は一日中決して閉じることがない。そこには夜がないからである。21:26 こうして、人々は**諸国の民**の栄光と誉れとを、そこに携えて来る。21:27 しかし、すべて汚れた者や、憎むべきことと偽りとを行う者は、決して都に入れない。小羊のいのちの書の書に名が書いてある者だけが、入ることができる。

# 闇の存在について

～カオス(混沌)から秩序へ～

創世記1：1～2 「3つの立場(解釈)」

「サタンの墮落」

「カオスを表現する言葉」

「希望の言葉」

1:2 地は**茫漠**として何もなかった。**やみ**が大水の上にあ  
り、神の霊が水の上を動いていた。

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴⑥ 都のあかりなる小羊

特徴⑤ 宝石のできた都

特徴④ 都の広さ

特徴③ 土台石

特徴①  
神の栄光

御国の時代

メシア的王国

1000年間

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

?年間

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

特徴⑦ 都にはいる者たち

順⑥:第2の宣言(御座に着いておられる方の声:2種類の相続)

順⑤:第1の宣言(御座から出る大きな声:創3:16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦:聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地(海がない)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2) 66

第1の宣言(21:3～4) 67

第2の宣言(21:5～8) 68

聖なる都エルサレム(21:9～10) 69

聖なる都の城壁(21:11～13) 70

土台石と都の広さ(21:14～17) 71

宝石でできた都(21:18～21) 72

都のあかりなる小羊(21:22～27) 73

いのちの水の川(22:1～2)

\*いのちの水の川 74

\*いのちの木

\*ぎょうの霊想:フォークを右手に

神の都の住民(22:3～5) 75

結論(22:6～21)



## 74) 22 : 1~2 「いのちの水の川」

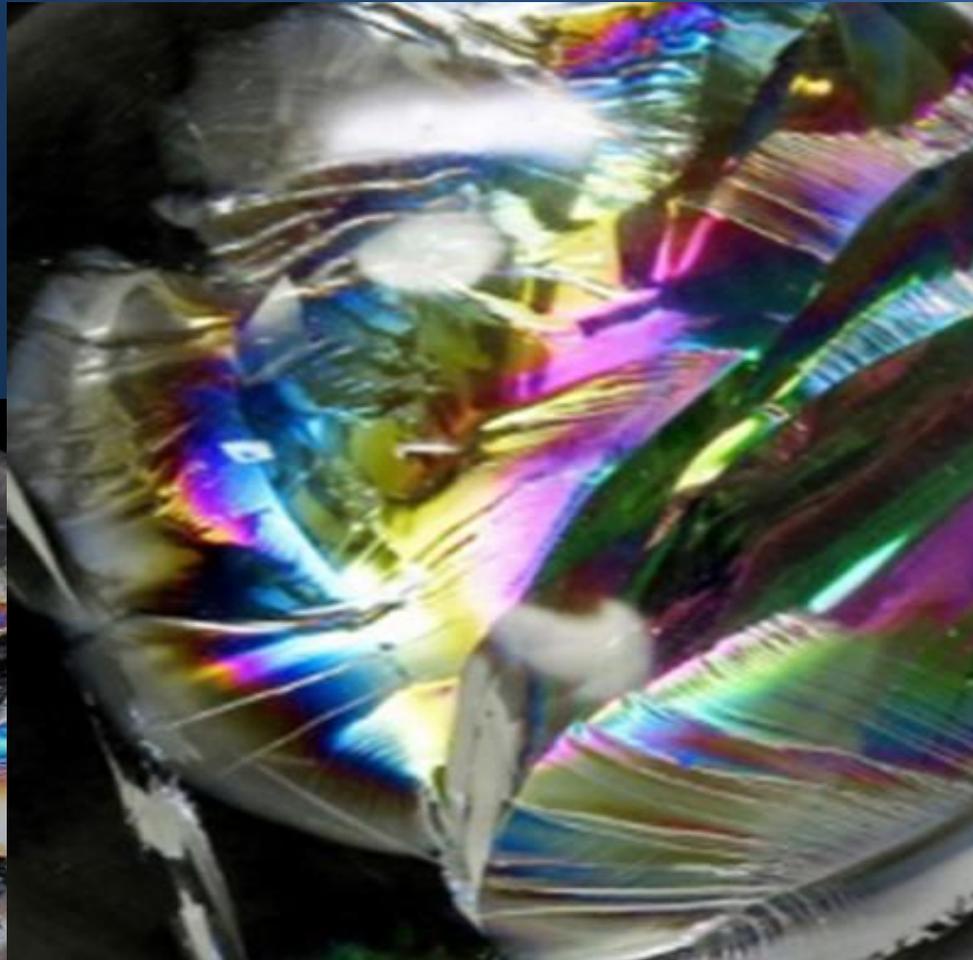
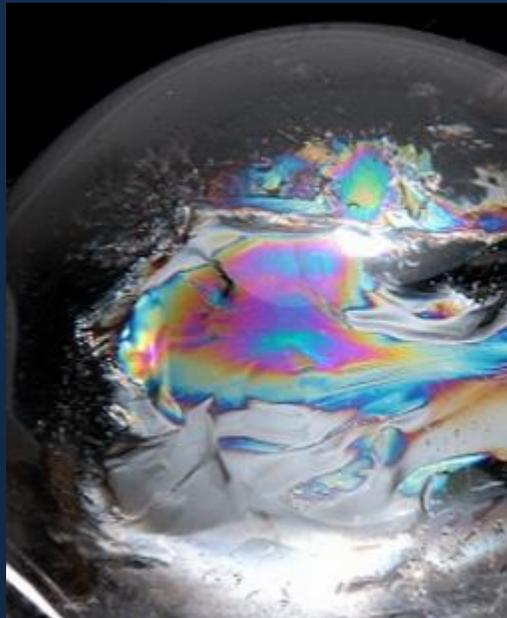
### \*特徴① いのちの水の川(1~2a節)

22:1 御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と小羊との御座から出て、22:2a 都の大通りの中央を流れていた。

### \*いのちの木(2b節)

22 : 2b川の兩岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、**毎月**、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。

水晶のような輝きとはどんな輝きだろうか！  
想像を超えていて、イメージ不可能ですね。



地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴⑥ 都のあかりなる小羊

特徴⑤ 宝石でできた都

特徴④ 都の広さ

特徴③ 土台石

特徴①  
神の栄光

特徴⑨ いのちの木

特徴⑧ いのちの水の川

御国の時代

メシア的王国

1000年間

順②  
白い御座  
のさばき

直前期

?年間

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

特徴⑦ 都にはいる者たち

順⑥: 第2の宣言(御座に着いておられる方の声:2種類の相続)

順⑤: 第1の宣言(御座から出る大きな声:創3:16~19のろいからの解放)

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦: 聖なる都エルサレムの再記述(黙21:2の詳述)

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地(海がない)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

新しい天と新しい地(21:1～2) 66

第1の宣言(21:3～4) 67

第2の宣言(21:5～8) 68

聖なる都エルサレム(21:9～10) 69

聖なる都の城壁(21:11～13) 70

土台石と都の広さ(21:14～17) 71

宝石でできた都(21:18～21) 72

都のあかりなる小羊(21:22～27) 73

いのちの水の川(22:1～2) 74

神の都の住民(22:3～5) 75

\*額に印された神の御名

\*夜がない

\*ぎょうの霊想:暗くなる前に

結論(22:6～21)



## 75) 22 : 3~5 「神の都の住民」

### \*特徴⑩ 住民「額に印された神の御名」(3~4節)

22:3 もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあって、そのしもべたちは神に仕え、22:4 神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。

### \*特徴⑪ 夜がない(5節)

22:5 もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。

永遠の秩序(御国)・神の栄光

地上の視点

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地

順④:新しいエルサレム(天から下ってくる)

特徴⑥ 都のあかりなる小羊

特徴⑪ 夜がない

特徴⑤ 宝石でできた都

特徴⑩ 額に印された神の御名

特徴④ 都の広さ

特徴①  
神の栄光

特徴⑨ いのちの木

特徴③ 土台石

特徴⑧ いのちの水の川

御国の時代

特徴② 聖なる都の城壁と十二の門

特徴⑦ 都にはいる者たち

メシア的王国

順②  
白い御座  
のさばき

順⑥: 第2の宣言(御座に着いておられる方の声: 2種類の相続)

順⑤: 第1の宣言(御座から出る大きな声: 創3: 16~19のろいからの解放)

直前期

順④ 聖なる都エルサレム 順⑦: 聖なる都エルサレムの再記述(黙21: 2の詳述)

1000年間

? 年間

順① 以前の天と地は過ぎ去った 順③ 新しい天と新しい地(海がない)

# 結論

## IV. 結論：神が望んでおられること

### (1) アブラハムの信仰と生き方を受け継ぐとは？

- ① 見えるものではなく、見えないものにこそ信頼を置く、信仰者の生き方
- ② 自由、自由人、自由な街、信仰義認↔束縛、奴隷、世の支配、律法主義
- ③ アブラハム契約の祝福を恵みにより信仰によって受け継ぐもの  
第8番目の契約「新しい契約」を信じ、恵みの時代に生きる私たちのこと。

### (2) 苦難の中で、信仰の目を上げるとは？

- ① 苦難の中で、確実に成就する真実な神の約束(契約・御言葉)を信じる人
- ② その約束の御言葉とは

「また、神ご自身がともにおられて、彼らの目の涙をすっきりぬぐい取って下さる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」

### (3) 黙示録のメッセージを真剣に受け止めるなら

- ① 世界観、歴史観が革命的に変わる⇒**内向き志向**から**外向き志向**になる
- ② 神の視点でものを見る⇒**伝統主義**から**変革**へ
- ③ 真剣に受け取るとは⇒**AIM**(目的)、**BASIS**(基本)が変化し**実践(愛)**がともなう。
- ④ 携挙(第一の復活)、天での礼拝、千年王国、永遠の秩序に預かり相続する。  
※不信者の相続とは「第二の死」…伝道せざるを得なくなる。

### (4) 神が備えて下さるものとは？

- ① 「人間の知恵」には考えつかないもの(福音。神が人間となること)
- ② 全て人間の理解(人間の知恵)をはるかに超えたもの(それが福音の本質)
- ③ 最たるものが「**聖なる都エルサレム**」。  
黙示録を学び、真剣に受け止めるなら、それを垣間見る特権が与えられる。

## (5) 信じる者に与えられる神の守りとは？

- ①最終的には、「聖なる都の城壁」神の守りの御手(同居)にある状態
- ②この世でも、イエスを信じる者は「神の都」。決して絶望することはない。

## (6) 永遠の住まいを思いうかべることができたなら？

- ①永遠に価値あることのために労するようになる。この人は幸いである。
- ②この世のことと、千年王国でのことは、本の表紙ぐらいのもの
  - ・偉大な物語の本編である永遠の御国(秩序)はまだ地上のだれも読んだことのないあまりにも美しくすばらしいことであり、書き記すことができない。
- ③黙示録の21章は、その世界を隙間から垣間見るようなもの。

## (7) 恵みと特権に感謝したなら？

- ①その恵みと特権に対して**応答**すること。神への**献身**を明確にすること。
- ②必要なのは主イエスのみとし、**永遠の御国(神の栄光)**に向かって歩き続け、語りかけ続け、祈り続け、泣き続けていれば良い

(8) 都に入れる者とは？

① 主イエスの十字架の贖いを信じて新生した者だけ

(9) 「いやし主」である主イエスとは？

① 聖なる都エルサレムでは病気の人はいない。完璧ないやしが実現している

(10) 「わたしは世の光です。」とは？

① 聖なる都エルサレムでは、夜がなく、太陽や月もない。

最後に残るのは、  
「神の発する栄光の光」  
「シャカイナグローリー」  
だけが在り続ける！

# 聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

## 私たちの**ABC**

**AIM** … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。  
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

**BASIS** … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。  
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

**CONCEPT** … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した  
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

アルファでありオメガであるお方に  
最初であり最後であるお方に  
賛美と栄光と力が永遠にあるように。

黙示録を学ばれる兄弟姉妹に  
主の特別な祝福がありますように！

アーメン



# 第11回講解 おわり

## 次回の予定

～キリストの初臨を覚え、共におられることを喜ぶ日！～  
～その日に黙示録(再臨がテーマ)の最終回！感謝です！～

2016/12/24 (土) in元町

\*16:30で終了後にクリスマス会！

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

信頼に足る書(22:6～9)

76

神からの宣言のことば(22:10～15)

77

救いへの招き(22:16～17)

78

警告のことば(22:18～21)

79

では学んだことを  
分かち合いましょう！

